



地理院タイル(淡色地図)を加工して作成

過去の災害実績

国道180号(総社市日羽～美袋)では、洪水時に路面冠水が発生し、平成22年以降では6回の全面通行止めが発生しています。
 平成30年7月豪雨時は、路面冠水により約6日間の全面通行止めとなり、国道180号沿線の作原地区では孤立集落が発生しました。

全面通行止め状況

番号	冠水発生年月日	災害要因	規制内容
①	H30.9.30	台風24号	路面冠水・全面通行止め
②	H30.7.6	H30.7豪雨	路面冠水・全面通行止め
③	H25.9.4	大雨・豪雨	路面冠水・全面通行止め
④	H24.7.7	大雨・豪雨	路面冠水・全面通行止め
⑤	H23.9.3	台風	路面冠水・全面通行止め
⑥	H22.7.14	大雨・豪雨	路面冠水・全面通行止め

路面冠水状況 (H30.7)



※赤着色箇所は国道180号を示す 資料/総社市

事業概要

一般国道180号は、岡山県岡山市から島根県松江市までを結ぶ延長約170kmの主要幹線道路であり、第一次緊急輸送道路に指定されています。総社防災は、総社市日羽～総社市美袋において、路面冠水による通行止めを防ぐことを目的とした延長1.2kmの防災対策事業です。

事業区間は、総社市中心部と高梁市を連絡する区間の一部であり、さらに並行する一般道路がないことから幹線道路と生活道路の両面の役割を担っています。総社防災の整備により、国道180号の災害時脆弱性を解消し、豪雨時の路面冠水及びこれに伴う孤立集落の解消が期待されます。

経緯

令和5年2月～3月	国道180号総社地区防災対策検討委員会
令和5年3月	路面冠水対策内容(区間・構造等)の決定
令和5年度	事業着手

計画諸元

さくばらにし 作原西地区		さくばらひがし 作原東地区	
区間	(起点) 岡山県総社市日羽 (終点) 岡山県総社市美袋	区間	(起点) 岡山県総社市日羽 (終点) 岡山県総社市日羽
延長	0.4km	延長	0.8km
事業内容	築堤	事業内容	現道嵩上げ

標準断面図

